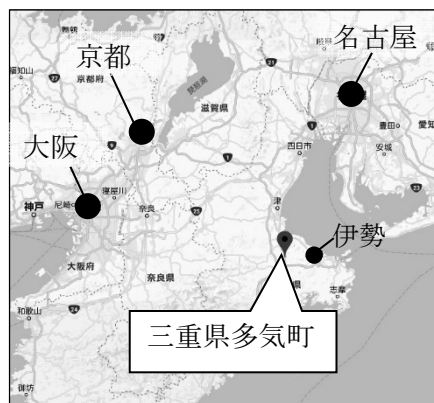


平成30年度「田んぼの学校」指導者養成研修 in 三重
開催要項

- 1 目的 本研修では、「田んぼの学校」活動を通じた農村環境の維持や、人材を含めた地域資源のとらえ方などについて講義と実習で学び、「田んぼの学校」活動などの農村環境保全活動を実践する指導者等を養成します。

今回の研修では、三重県多気町内で「田んぼの学校」活動をしている団体「立梅用水」「多気町勢和地域資源保全活用協議会」の取組を参考としながら、「田んぼの学校」活動を実際に体験（「ボートくんだり体験」「生きもの観察会」を予定）したり、生物保全など地域資源の活かし方や様々な人と連携する地域活動についてのヒントなどを学びます。
- 2 主催 一般社団法人 地域環境資源センター
- 3 協力 たちばいようすい
立梅用水土地改良区
多気町勢和地域資源保全活用協議会
- 4 開催日 平成30年6月15日（金）13：00から
平成30年6月16日（土）15：30まで（1泊2日）
- 5 会場 (1)研修会場
西村彦左衛門生家（カフェ フルサトヤ）
（三重県多気郡多気町丹生1620-1）
※松阪駅～研修会場の送迎バスを手配します。

(2)宿泊場所（2箇所3パターン）
①勢山荘（室内又はバンガロー）
②古民家 つじ屋
※宿泊場所の調整は事務局にお任せください。
- 6 対象 18歳以上の農村環境を活用した自然体験・環境教育に関心のある方、多面的機能支払交付金活動組織の役員・構成員、自治体職員の企画担当の方、土連職員、その他「田んぼの学校」活動に関心のある方など
- 7 定員 25名（最小催行人員15名） ※先着順



- 8 費用
- (1) 受講費：5,000円（保険料含む）
 - (2) 宿泊費：4,500円～5,600円（1泊朝食）※宿泊施設による
 - (3) 夕食&情報交換会代：3,500円（調整中）
 - (4) 2日目昼食代：800円

☆以下の点について、予めご了承ください。

- ・受講料の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。
- ・お部屋は相部屋（3～4人ずつのお部屋）となります。
（寝間着・歯ブラシ等ご持参ください。）

※宿泊は2施設3パターンに分かれます。

地区内に宿泊所が少ないため、誠に勝手ながら部屋割り（男女別）は、事務局で調整させていただきます。

9 参加申込

- (1) 申込方法 別紙「参加申込用紙」に必要事項を記入いただき、
FAXまたはメールにて以下の宛先にお送り下さい。
- (2) 申込宛先 (一社) 地域環境資源センター 農村環境部 宛
FAX：03-3432-0743
メールアドレス：tanbogk@jarus.or.jp
- (3) 申込期限 平成30年6月6日（水）

10 申込の受理および受講決定

お申込は、先着順に受理します。参加者には開催日1週間前を目途に「事前資料」「受講料請求書」をお送りします。

また、最小催行人数に達せず中止となる場合は、6月8日までにご連絡させていただきます。

11 集合場所及び送迎バスについて

- (1) 公共交通機関でお越しの方
松阪駅12：10集合（近鉄下り11：57着／JR下り11：52着）
松阪駅～研修会場 送迎バスにてご案内します。
※1日目のお昼は各自で済ませてください。
- (2) 自家用車でお越しの方・・・直接、研修会場へ12：50までにお越し下さい。

12 その他

- (1) 農業農村工学会技術者継続教育機構
本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、9ポイントとなる見込みです。
- (2) 「田んぼの学校」支援センター
本研修参加者は、「田んぼの学校」支援センター会員に登録され、

今年1年間の「田んぼの学校」情報を受け取ることができます。(登録料・年会費とも無料)

1 3 問い合わせ先

一般社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 担当：山崎、藤田
住所 〒105-0004 東京都港区新橋五丁目34番4号
農業土木会館6階

電話 03-5425-2461

FAX 03-3432-0743

「田んぼの学校」ホームページ <http://www.tanbonogakko.net/>

E-mail : tanbogk@jarus.or.jp

1 4 プログラム

次頁



1.4 プログラム

- * 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具等もご準備下さい。

【1日目：6月15（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
12:50		集合、受付	
13:00	15分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
13:15～14:15	60分	アイスブレイク (お互いを知る時間)	(室内・実習) ・緊張を解きほぐす ・参加者同士の相互理解
14:15～14:45	30分	「田んぼの学校」指導者の役割	(室内・講義) ・今、求められている人材とは
14:55～15:55	60分	「立梅用水」について	(室内・講義) ・立梅用水の概要 ・取組み内容とその効果
16:00～17:30	90分	体験「用水路ポートくだり」 6次産業化施設の見学	(室外・実習) ・立梅用水の見学 ・イベント体験 ・農村料理レストランの見学
18:00～20:00		夕食をかねた情報交換会	

【2日目：6月16日（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
8:30～11:30	180分	体験学習「生きもの観察会」 (屋外、移動を含む)	(室外・実習) ・生きもの観察会の手順 ・生きもの観察会の体験
11:30～12:00	30分	安全管理について	(室内・講義) ・「田んぼの学校」活動時の留意点
12:00～13:00		昼食	
13:00～14:00	60分	おまめさんかなあプロジェクトについて	(室内・講義) ・地域、学校との連携 ・子どもへの効果 ・地域への効果
14:10～15:00	50分	プログラム解説	(室内・講義) ・田んぼの学校プログラムの解説 ・他団体のプログラム紹介
15:00～15:30	30分	ふりかえり	
15:30		終了・解散	

* 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。

* 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。